

3

良質堆肥の選び方

その1 こんな失敗はありませんか？

発芽 根が伸びないと芽が伸びられない

堆肥を施してタネを播いたのに、発芽してこないとか、発芽して緑色は濃いけれど元気がなく、のびのびと育たない、といった経験はありませんか。



未熟堆肥で発芽不良のコマツナ



根が下に伸びられず、発芽できないものが多い

そんな場合、土をよくしようとして施した堆肥が、発芽を妨げていることがあります。植物の発芽は、まず先に根がスーと下に伸び、大地に根をおろしてから地上に芽を伸ばしてきます。そのとき、左下の写真のように、タネのまわりによく分解・発酵していない未熟堆肥があつて根の先にあたると、根が障害を受けて伸びることができません。また、堆肥と肥料で土の養分が濃くなりすぎていると、根毛の発生が少なく養分をバランスよく吸収する力の弱い根になり、芽は窒素だけが効いて色は濃いのに弱々しく育ちます。

分解・発酵の進んだ良質堆肥の入った土だと、根は堆肥のあるところを求めるとして下に伸びていき、右頁下の写真のように根毛がたくさん発生して、土の粒子をつかんでいます。地上部は、葉の色がさわやかで、のびのびと育っていきます。

根が集まる堆肥 根が
逃げる堆肥

このように、根が集まり元気になる堆